

全国福祉用具専門相談員協会(6月17日、3085会員)

## 「大会1年延期は準備期間」



岩元文雄理事長

昨年6月17日の第1回福祉用具専門相談員研究大会は、22演題の発表があった。岩元文雄理事長は、1年の延期を準備期間が増えたと捉えたいと述べた。

「この事態によって、介護が必

要とする人たちにとって福祉用具が日常生活を支えている役割が明確になった」と話した。

19年度には、東京商工会議所から福祉住環境コーディネーター(FJC)の業務移管が実施され、FJC会員773人が入会。ふくせん会員は、計8089人になった。ふくせん「福祉用具専門相談員更新研修」は19年度、全国で計7回(93人)実施。17年度以降341人が修了した。

シルバー産業新聞

2020年(令和2年) 7月10日号 9面